

株式会社ユーグレナ（東京都港区）

2つの重要課題を同時に解決ーバングラデシュにおける貧困農家の収入増と難民への食糧支援を実現



【取組内容】

- バングラデシュの**貧困農家に高品質な緑豆の栽培ノウハウを伝授**し、収穫した緑豆を**市場価格より高い価格で農家から購入することで雇用創出と所得増に貢献**。
- 購入した緑豆の半分は日本に輸出し、残り半分は現地の貧困層に原価で販売。**収益をベースにした継続的かつ自立的な支援体制を確立**。
- 国連世界食糧計画（WFP）と連携し、**本事業で得たノウハウを活用してミャンマー・ラカイン州からの避難民（いわゆる「ロヒンギャ」難民）への食糧供給、現地貧困農家への栽培指導、作物の購入を実施し、難民キャンプ近隣の小規模農家2,000人を雇用。2年間で3万人の難民に1年半分に相当する食料（緑豆）を供給。地産地消による新鮮な作物の提供と運送費の大幅削減を実現。**

【評価ポイント】

- 「ロヒンギャ」難民という事業展開しにくい課題・地域において、持続的な経営でインパクトを創出。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）	
普遍性	「ロヒンギャ」難民支援を官民連携で実践した初の案件として、新たな国際支援のロールモデルとなり得る。
包摂性	現地貧困農家の所得増や「ロヒンギャ」難民への食料供給を通して「誰一人取り残さない」理念を体現。
参画型	「ロヒンギャ」難民を支援対象に、現地小規模農家やWFP、現地農作物トレーダー等と積極的な協業を展開。
統合性	効率的かつ生産性の高い農業技術を導入するとともに収益性も確保することで貧困農家の所得増と難民への食糧支援を同時に解決。
透明性と説明責任	HPにおいて活動を公表・紹介するとともに、WFPや国連開発計画（UNDP）を通じて社会へのメッセージを発信。

